

よくあるお問い合わせ

●漏電ブレーカの表示ボタンの復帰（凹凸）について

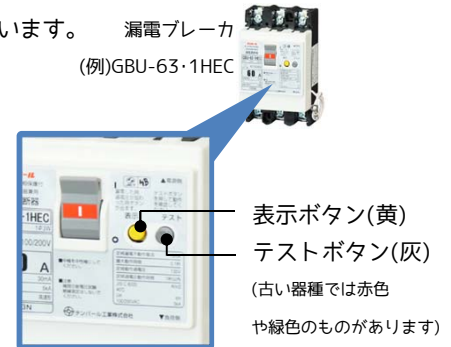
漏電ブレーカには一部の小型器種(GB-2ZA等)を除いて「表示ボタン」が装備されています。漏電ブレーカ

(例)GBU-63・1HEC

この表示ボタンは、漏電したとき、または中性線が欠相して過電圧が発生し、それを検出して漏電ブレーカが動作した場合に突出してお知らせします（凸）。

表示ボタンは、

- 1) 漏電ブレーカのハンドルつまみをONする際に自動復帰するものと、
- 2) 手動で復帰させなければならない（指で軽く押す）ものがあります。



漏電ブレーカが動作したのちの表示ボタンは、漏電ブレーカの型式により下記のようにになります。

住宅用分電盤の主幹用漏電ブレーカ 40A以上の器種は、ハンドルつまみに連動して凹む表示ボタンを搭載しています。

1) 表示ボタンが、ハンドルONに連動して凹む器種

- 40A、50A = GBU-53・1EC、GBU-53・1HEC
(廃番) GBU-53・1J、GBU-53・1HJA
- 60A = GBU-63・1EC、GBU-63・1HEC
(廃番) GBU-63・1J、GBU-63・1HJA
- 75A = GBU-73・1KC、GBU-73・1HKC
(廃番) GBU-73・1KA
- 100A = GBU-103・1KC、GBU-103・1HKC
(廃番) GBU-103・1KA



2) 表示ボタンが、ハンドルONに連動して凹まないで、指で軽く押して凹ます器種

- 30A = GB-2EA、GB-2EC
(廃番) GB-2E
GBU-3・1EA、GBU-3・1HEA
(廃番) GBU-3・1E
- 40A、50A = (廃番) GBU-53・1E
- 60A = (廃番) GBU-63・1E
- 75A = (廃番) GBU-73・1E
- 100A = (廃番) GBU-103・1E
- (古い分電盤ではGBU-**ではなく、GB-**の場合もあり)

